

【発行元】全国大学生協連関西北陸ブロック

開催概要

日程：2020年10月17日(土)

場所：Zoom

獲得目標

- 舞鶴で起きたことや起きている問題を知ること、社会に対して批判的な目を向けられるようになる。
- 平和について話し合うことで、自分の考えを深め、周りの人に伝えられるようになる。

参加者（カッコ内は人数）

立命館(1)、同志社(2)、龍谷大(1)、滋大津(1)、滋彦根(1)、奈良大(2)、奈良女(4)、大阪大(1)、大教大(1)、和歌大(1)、阪市大(2)、樟蔭女(1)、関学大(1)、神外大(1)、兵科大(1)、舞鶴引揚記念館学芸員(1) **計15会員22名**



XX 企画局長あいさつ

社会を見る“見方”を変えよう

今回のPN!舞鶴は、ただ舞鶴で起きたことを知ってもらうだけでなく、セミナー後の参加者の社会に対する“見方”を変えたいという目的をもって行いました。企画長挨拶では、「あなたが見ている視点って本当に正しいんですか」と投げかけました。社会に対して行動する前に、社会の見方や考え方を見直してみようと呼びかけました。

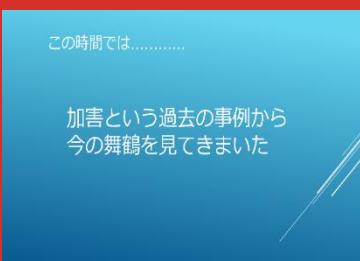


社会への見方が変わると、社会への行動につながっていくことを話しました。

01 企画① 「加害を知る時間」

舞鶴で実際に行われていた加害について

この時間ではおそらく今まで学ぶことがなかった日本の加害面、今回は舞鶴に近い大江山でのことをメインとしました。学ぶことがなかったからこそ新たな日本の事実について知ることができる時間でした。加害というものが日本で行われ、当時の強制労働の実態を見て、どれだけ残酷なものなのかを知ってもらうことにつながりました。

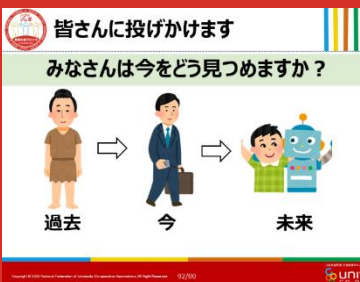


過去を知ること、新たな日本の一面に気づくことができました。

02 企画② 「過去を知り、今を考える時間」

過去から学び、今の問題を複数視点で

企画②では、舞鶴だけではなく自分自身の身の回りにどんな社会的な問題があるだろうかを考えました。そのひとつひとつの問題には様々な立場の人の考え方があつことを実感するワークも行いました。みなさんは“今”ある問題に対してどう見つめていますか？過去と今を結び付け、複数の視点をもって考えてほしいというメッセージもありました。

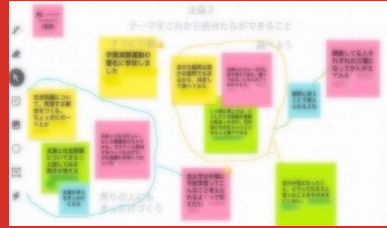


ワークでは舞鶴にある「五老ヶ岳」の問題について考えました。

03 企画③ 「未来を考える時間」

話す・共感・理解・考える

企画①と②を通して学んだことを整理し、社会に対して疑問を持ちながら、平和に対する考えを深めていきました。グループワークを通して自分の思いを言葉に表し、他の人の意見を聞くことで共感や新たな気づきを得られ、さらに考えることができました。短い時間のなかでも自分たちが平和に対してできることを考えることができました。みなさん 素晴らしいです！



参加者のみなさんがたくさん意見を出してくれました！

04 実行委員より

平和学習！と聞くと、皆さんはどんな場所を思い浮かべますか？広島原爆ドーム？沖縄のひめゆりの塔？長崎祈念公園？

上記であげた場所でしか学べないこともたくさんあると思います。しかし私は平和を学ぶことはどこでもできと思っています。何故なら平和と生活は隣り合わせだからです。私たちの生活の基盤には平和があるからです。この報告を読んでいるあなた！平和を学びたいという意欲があればいつでも学ぶことができますよ。ぜひ身近な平和を探してみてくださいね。



平和を考える事が難しいなと思うなら、身近な人と一緒に考える事からスタートするのもいいかも！📺

ツイッターにて、【#Hey輪をつなげよう】というリレー企画を行っています！

05 実行委員長あいさつ

学ぶだけではなく、ムーブメントに

実行委員長挨拶では、大学生協連のPeace!Nowの歴史について話がありました。自分らしく学び、「自分事」として頭と心で受け止めて自分が発信して、自覚して行動してほしいという想いもあります。また、私たちが舞鶴を通して学んだことを自分だけの中でどめるのではなく、「学生の立場から”考え、話し合い、行動する””ことを自ら発信し考えるきっかけにしてほしいということがありました。



関西北陸にとって身近な舞鶴から、自分事として考えるきっかけになりました。

+A 舞鶴の景色

様々な顔を持つ舞鶴

舞鶴は、様々な顔を持つところです。海上自衛隊軍事施設、強制労働跡（与謝野町）、引き上げ地、船沈没地（と言われている）など。舞鶴を扱うことで、平和について様々な視点で見ることができるのではないかと思います。機会があればぜひ行ってみてくださいね。

企画局長：奈良教育大学生協学生委員会 足立繁郁



近畿100景1位に選ばれた五ヶ岳から見える景色！



今年を終戦75年の年でした。舞鶴を通して知ったことを未来にもつなげていきたいですね。

文責：ブロック学生事務局 [PN!舞鶴実行委員一同]